

令和5年2月13日(月) 14:00～
ときわ湖水ホール ミーティングルーム

第 1 回

宇部市石炭記念館あり方検討委員会

宇部市観光スポーツ文化部ときわ公園課

1

宇部市の炭鉱の歴史

少なくとも江戸時代初期

石炭の採掘開始

明治初期

海底炭鉱の採掘開始

石炭産業の隆盛

大正10年(1921年)

宇部村から宇部市へ

昭和30年代

エネルギー革命による
石炭産業の衰退

昭和42年(1967年)

最後の炭鉱閉山
(宇部鉱業所)

2

石炭記念館の誕生の経緯

- 宇部市発展の基盤となった石炭がもたらした恩恵への感謝
- 貴重な文献機材を整備して、その歩みを後世に伝える

これを実現するための施設建設の機運が高まる

宇部炭田発祥の地と伝わる常盤湖畔の地で建設スタート

昭和44年(1969年)11月1日

日本で初めての石炭をテーマとした施設

『宇部市石炭記念館』開館

3

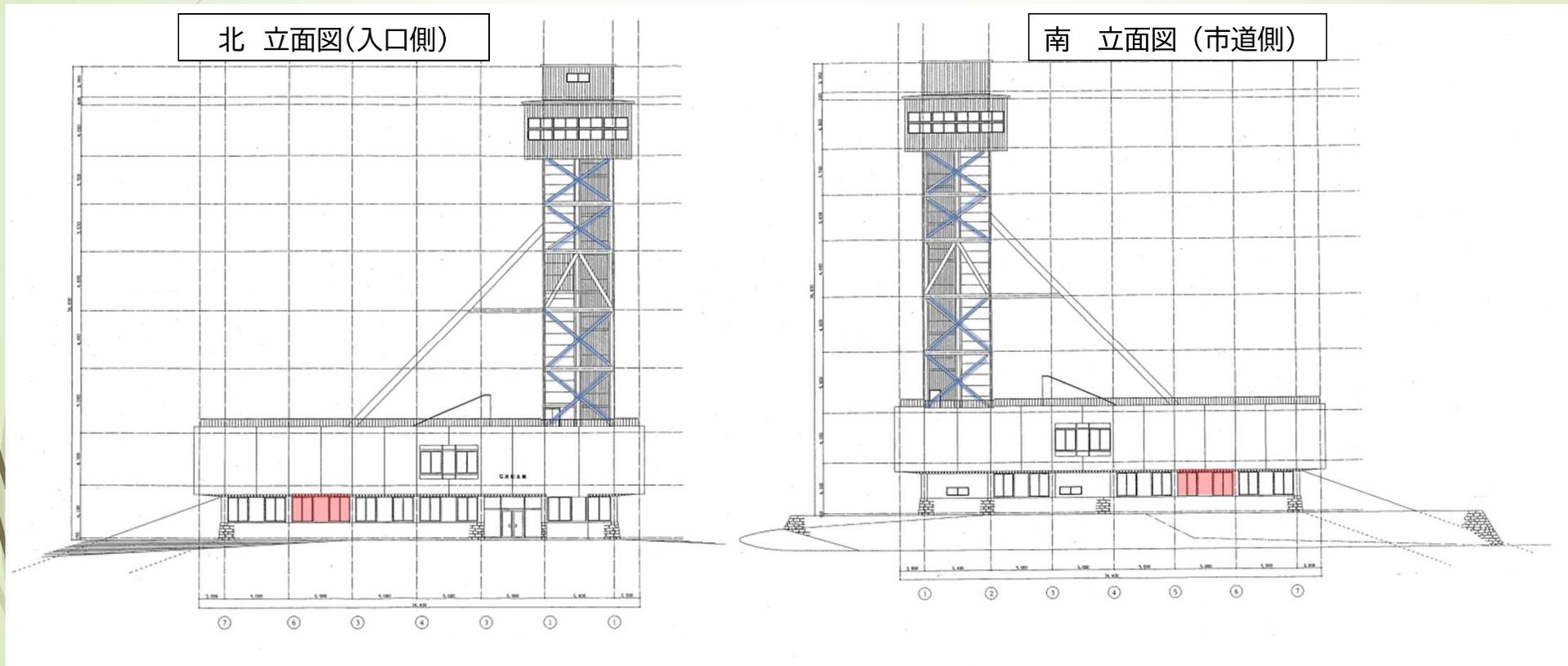
開館後の施設改修等の経過

昭和45年度(1970)	モデル坑道 完成
平成 元年度(1989) ~2年度(1990)	展示改修 (事業費:約8,400万円) ・1階、2階及び屋外展示エリアを改修
平成 8年度(1996)	木造機帆船天神丸の一部を展示するため、一部施設を改修
平成10年度(1998)	石炭記念館再生委員会発足 (*平成14年で休止)
平成11年度(1999)	石炭記念館老朽度調査の実施
平成12年度(2000)	展望塔改修 (事業費:7,932万円) ・非常階段更新、構造補強及び塗装、エレベーター改修、空調工事等
平成20年度(2008)	展示改修 (事業費:499万円) ・1階展示エリアパネル展示更新、2階DVDシステム導入等
平成21年度(2009)	屋外展示物(巻上機)塗装 (事業費:156万円)
平成24年度(2012)	照明設備改修工事(LED化)

石炭記念館老朽度調査(H12.3)

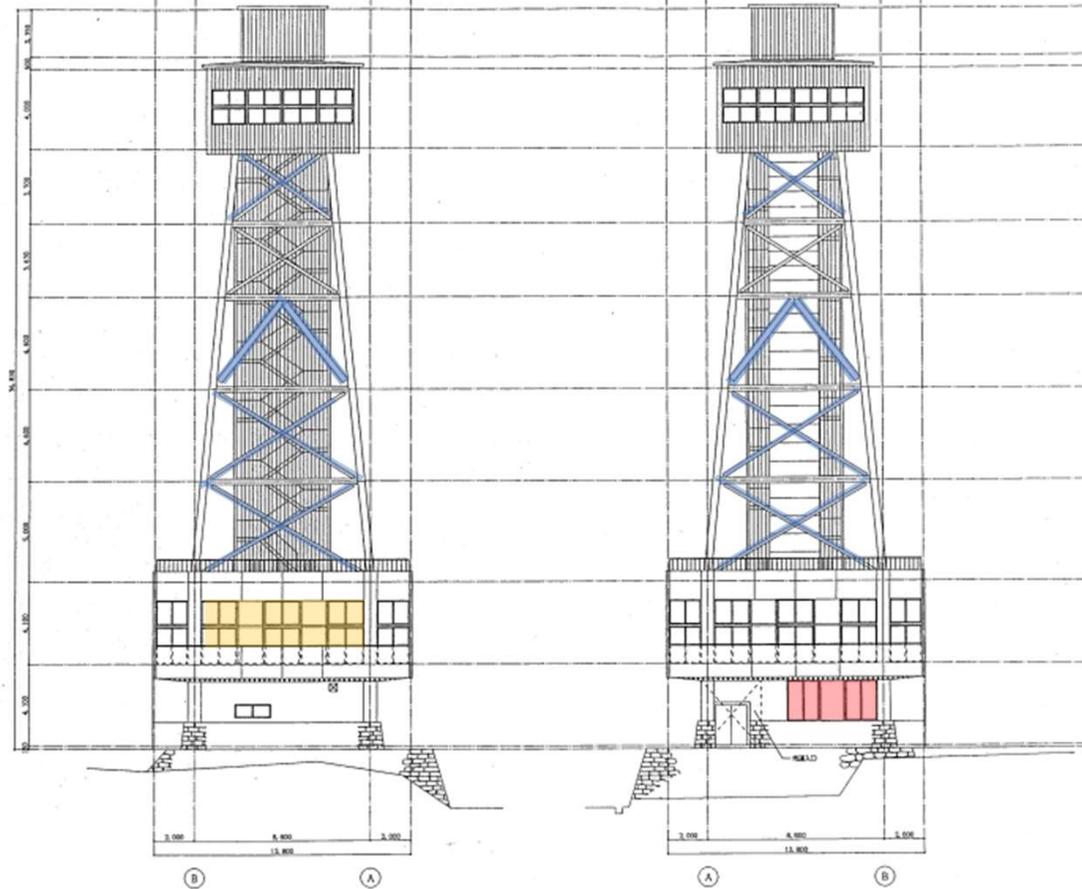
調査に基づく耐震改修(案)

- ① 1・2階(RC造) ■ 開口部を閉鎖(北、東、南面) ■ 耐力壁設置(西面)
- ② 展望塔(S造) ■ 補強



西 立面図(公園側)

東 立面図(トイレ側)



4 石炭記念館の現状

1. 施設の概要

所在地	宇部市 ときわ公園内(野中3丁目6)	
開館年月日	昭和44年(1969年)11月1日	
総工費	6,329万円 (地元政財界・市民等からの寄附3,611万円 宇部市負担金1,700万円 山口県助成金1,000万円ほか)	
本館	構造	鉄筋コンクリート構造
	階数	2階
	面積	927.84㎡ (1階/487.52㎡ 2階/440.32㎡)
展望櫓	構造	鉄骨造
	高さ	28.48m
	面積	14.49㎡(展望室)

2. 施設の特徴

- 日本初の石炭をテーマにした博物館施設
- 全国的にも珍しい、豎坑櫓を再利用した展望台
- 収蔵品は、平成19年(2007年)に経済産業省の近代化産業遺産に選定されている
- 民間主導により建設、費用の大半は市民や炭鉱関係者の寄附による
- 宇部炭田や大嶺炭田(美祢市)で実際に使用された炭鉱関連資料を収蔵し、屋内外で展示

3. 運営状況

開館時間	午前9時30分～午後5時
休館日	毎週火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～1月1日)
入館料	無料
運営主体	市直営(観光スポーツ文化部ときわ公園課)
職員体制	常勤:1名(学芸員) 非常勤:1名(土日祝、平日で学芸員不在の日のみ) *業務委託職員

4. 入館者数の推移



5. イベント・教育普及活動の実績

イベント・企画展等

- 石炭まつり
 - 炭鉱の語り部講座
 - 石炭記念館冒険ラリー
 - 石炭記念館ガイドツアー
 - 各種ワークショップ
 - 夜間開館&展望台夜景観賞
 - 宇部炭田発祥地めぐりウォーキングツアー
- など

教育普及活動

- 出前講座____R3年度;3団体
- 社会見学(見学のみのみ)____R3年度;14団体
- 社会見学(ガイド有)____R3年度;12団体
- 学習プログラム____R3年度;1団体
- 書籍等への寄稿

など

5

検討委員会設置に至った経緯

- 開館から50年以上が経過している。
- 建物等の老朽化、ソフト面、ハード面共に問題を抱えている。

⇒ 今後の石炭記念館がどのようにあるべきか、その方向性について議論していただく。

6

石炭記念館の問題点

ハード面

施設の老朽化(本館、展望塔)

施設設備の経年劣化(空調、電気系統)

屋外展示物の老朽化

収蔵品の保管・管理をする倉庫の不足

企画展などの催事スペースが狭い

教育・学習のためのワークスペースが取れない

ソフト面

石炭の歴史を伝える後継者不足

魅力が発信できていない(興味を持たせることが出来ていない)

収蔵品の整理ができていない(収蔵場所が分散)

7

他市の石炭産業関連博物館施設の現状



8

今後の委員会スケジュール(予定)

開催日程	回次	検討項目等
令和5年3月	第2回委員会	・市民アンケート結果について ・石炭記念館の課題抽出
令和5年5月	第3回委員会	・石炭記念館のありたい姿
令和5年8月	第4回委員会	・提言書とりまとめ ・提言書(案)の確認
令和5年9月	提言書提出	
令和5年9月～11月	石炭記念館基本構想(素案)策定	
令和5年12月	基本構想(素案)に関するパブリックコメントを実施	
令和6年3月	基本構想策定、公表	